

オシメルチニブ(タグリッソ)による肺障害後の治療の実態と安全性・有効性を調査する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年10月25日～2023年3月31日

〔研究課題〕 Osimertinib による薬剤性肺障害の後治療の実態と EGFR-TKI re-challenge の安全性・有効性を調査する後方視的観察研究 (Osi-risk Study)

〔研究目的〕

オシメルチニブ(タグリッソ)による治療で間質性肺炎を発症した患者さんのその後の治療や経過の特徴、その後の抗癌薬の安全性や治療効果といった情報を検討することを目的としています。

〔研究意義〕

オシメルチニブ(タグリッソ)による間質性肺障害は今後も増加することが予想され、二次治療以降に分子標的治療薬を導入してよいか臨床的な判断基準の1つとなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕

2018年8月1日から2020年9月30日までの期間にオシメルチニブ(タグリッソ)を最初の治療として受け、間質性肺炎(ILD)を発症した患者さんが対象です。収集するデータは生存期間、治療成功期間、胸部 CT 画像、後治療の内容などの臨床データになります。

〔研究機関名〕 主機関は静岡県立静岡がんセンター。帝京大学医学部内科学講座は共同研究機関として参加します。

〔個人情報の取り扱い〕

本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 氏名 関 順彦 職名 教授
研究分担者: 氏名 石原 昌志 職名 助手
所属: 帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 16590]